

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間十勝川
治水100年
100TH ANNIVERSARY
FLOOD CONTROL OF THE TOKACHI RIVER令和4年10月11日
帯広開発建設部

「^{しんとく}新得スマートインターチェンジ（仮称）」

連結許可書の伝達式を開催します

～観光の振興や防災体制の強化に期待～

令和4年9月22日、国土交通大臣から新得町長に対して北海道横断自動車道へ直接乗り降りが可能となる「新得スマートインターチェンジ（仮称）」の連結が許可されました。このたび、帯広開発建設部長から新得町長へ「新得スマートインターチェンジ（仮称）」連結許可書の伝達を行いますので、お知らせします。

記

【新得スマートインターチェンジ（仮称）連結許可書伝達式】

- 日時： 令和4年10月13日（木） 11時00分～
- 場所： 新得町役場
- 出席者： 国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部長
新得町 新得町長
東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所長
- 次第： （1）連結許可書伝達
（2）写真撮影

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ソーシャルディスタンスの確保、マスク等の着用、消毒液の設置などの対策を実施いたします。

※ 取材の際は、各社必要最小限の人数でご参加のうえ、感染防止対策にご協力願います。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部

道路計画課 道路計画課長 おおえ ゆういち 大江 祐一 電話 0155-24-4106
道路計画課 道路調査官 ふかや ひろあき 深谷 弘明 電話 0155-24-4106

帯広開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>

新得町 地域戦略室

地域戦略室長 ふくはら ひろゆき 福原 浩之（電話 0156-64-0521）



スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

■道東自動車道 新得スマートIC(仮称)

<概要>

路線名 : 北海道横断自動車道 黒松内釧路線
(トナムIC～十勝清水IC間)

設置場所 : 北海道上川郡新得町

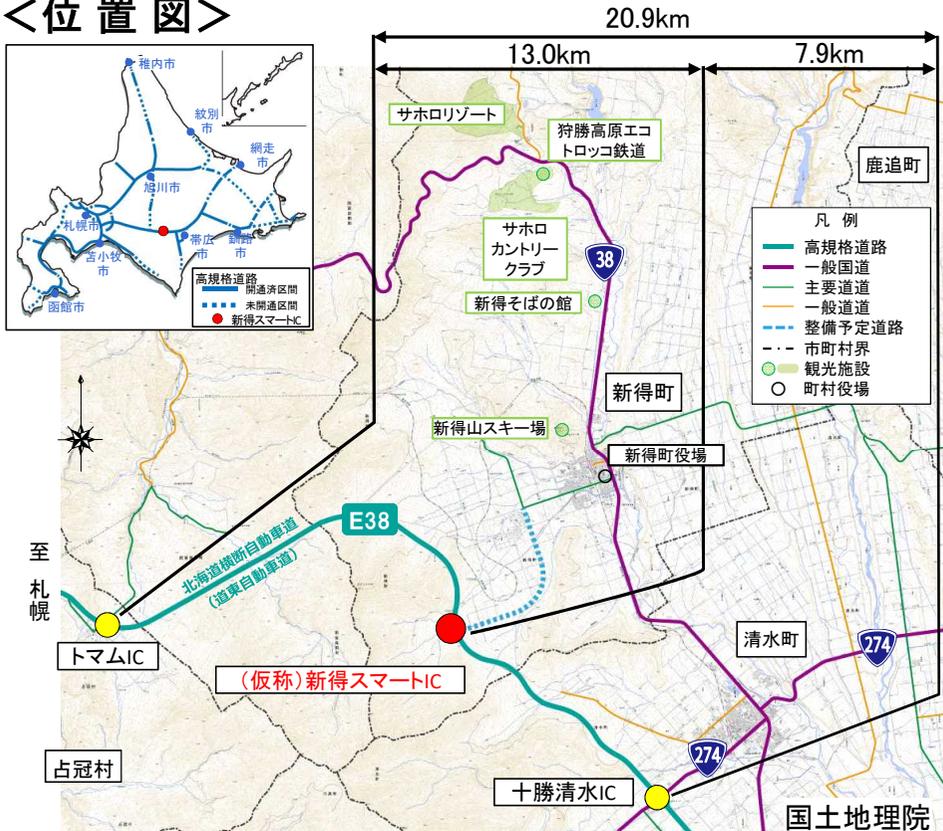
接続形式 : SA・PA接続型

※新得PA(仮称)も合わせて事業化

形式 : 全方向 (4/4)

運用形態 : 全車種 24時間

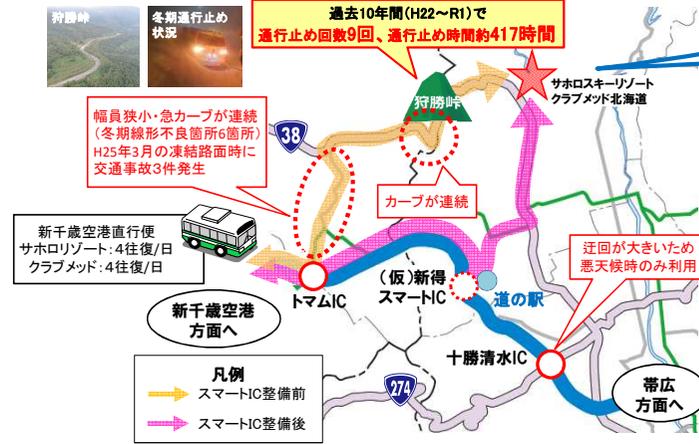
<位置図>



整備効果 観光振興

- ・十勝で最大規模であるサホロリゾートスキー場には国内外からスキー客が来訪。
- ・新得スマートIC(仮称)の整備により、最寄りICからのサホロリゾートへの所要時間が短縮され、危険性が高い狭小区間や峠を回避でき、安全性の向上も期待。
- ・道の駅を併設することで、利用者に新得町の観光情報を発信することができ、スマートICを活用した周遊観光など新たな需要に期待。

▼新千歳空港直行便運行状況



<サホロリゾートスキーリゾート>



写真: サホロリゾートHP

- ・5コース新設(計21コース)
- ・フード付き4人乗りリフト整備
- ・エリア面積は1.5倍の約98㌫となりトナムや富良野と同規模
- ・地元から数十人の雇用創出

資料: 新得町、十勝毎日新聞より

▼各ICからサホロスキーリゾートへの所要時間(冬期)



※平成27年度全国道路・街路交通情勢調査の結果にETC2.0データから求めた冬期低減率を乗じて冬期速度を設定。

整備効果 防災体制強化

- ・新得町指定避難所の大半が浸水区域内で、周辺地域含めH28.8の台風時に多数被災。
- ・通行止め実績のある十勝清水やトナムからのルートでは、災害時の防災体制に課題。
- ・(仮称)新得スマートICの整備により、防災拠点として新たに整備予定である道の駅と連携し防災体制を強化。

▼H28.8の台風による被害状況



▼新得市街の被害と指定避難場所



▼高速IC10分カバー圏 新得町人口カバー率



スマートインターチェンジの検討・整備について

- スマートICの準備段階(地方での計画検討・調整段階)において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査(直轄調査)を実施(準備段階調査)。
- 準備段階調査における準備会での検討や調整が整い、関係機関で構成される地区協議会で決定された実施計画書が提出された箇所につき新規事業化。

